

菓子木型をつなげ！～KAGAWA から世界へ～

代表者 澤田 みのり（経済学部経済学科2年）

1. 目的と概要

この事業の目的は、地域に根ざす大学として「お菓子が香川を盛り上げる」という目標のもと、菓子木型や和三盆の魅力国内外のみなさんに知ってもらうことにある。

菓子木型をつくる職人は、現在、日本で数人、四国では市原吉博さん（香川県伝統工芸士）ただ一人となっている。今後、菓子木型の文化・伝統は、職人の高齢化により衰退していくことが危惧される。人々の記憶から菓子木型が消えないように、さらにより多くの人びとに魅力を伝えられるように活動したいと考えた。さらに、香川の名産である和三盆をより身近なものにしたいと考えた。



主な活動内容は3つあり、ワークショップの開催・お土産品開発・オリジナル菓子木型の制作である。

1つめとして、香川に来た観光客を対象にし、菓子木型や和三盆を知ってもらう機会、また香川での思い出を作ってもらう機会としてワークショップを行った。実際に菓子木型や和三盆に触れることで魅力を体感してもらうことができた。

2つめとして、多くの人びとに菓子木型や和三盆に興味を持ってもらうため、お土産の商品開発を検討してきた。クリアすべき問題点が生じたため、まだ完成には至っていないが、引き続き、お土産品開発に取り組んでいきたい。これらの活動を通じて、ワークショップの参加者が、お土産として和三盆を周囲の人びとへ配布することや、それにより菓子木型を想起させる事を期待している。

3つめとして、プロジェクトオリジナルの菓子木型を市原さんに作っていただいた。この木型を使用することで、香川大学のプロジェクトであることのアピールや、プロジェクト自体の知名度を高めること、菓子木型を知ってもらう場を創出してきた。

引き続き、オリジナルの菓子木型をワークショップ開催やお土産品開発に使用して、菓子木型や和三盆の魅力を国内外のみなさんに知っていただき、「お菓子が香川を盛り上げる」ことに取り組んでいきたい。

2. 実施期間（実施日）

2019年6月から2020年3月まで

3. 成果の内容及びその分析・評価等

【ワークショップの開催】

以下に示すように、ワークショップを計11回開催した。

| | |
|----------|---|
| 6/9 | ぐるぐる商店街 Vol. 4 |
| 7/6 | SHIP'S CAT + keme3 2019 祝祭 -おいでまい 高松丸亀町商店街- |
| 8/7 | 伝統的ものづくり夏休み親子体験教室 |
| 8/9 | 菓子木型で和三盆干菓子づくり体験 in 和 Café ぐう |
| 8/25 | ダイヤモンド・プリンセス寄港歓迎イベント |
| 9/25 | ダイヤモンド・プリンセス寄港歓迎イベント |
| 10/5 | 菓子木型で和三盆干菓子づくり体験 in 高松空港 |
| 10/26・27 | ツーリズム EXPO ジャパン 2019【大阪】 |
| 10/30 | Mixology experience Bar |
| 11/24 | 菓子木型で和三盆干菓子づくり体験 in Webase 高松 |
| 2/24 | 菓子木型で和三盆干菓子づくり体験 in Webase 高松 |

ワークショップの実施回数は11回であった。このうち4回は自分たちで企画したものであり、その他の7回のワークショップは講師、補助スタッフとしてお声掛けいただいたものである。

8月9日に開催した「菓子木型で和三盆干菓子づくり体験 in 和 cafe ぐう」は、直島地域活性化プロジェクトとの連携により実現した。瀬戸内国際芸術祭の夏期間中だったこともあり、海外からの観光客に多く参加していただいた。日本人の参加者も含めほとんどが、菓子木型が香川の伝統工芸品であることを知らなかった。初めて菓子木型を知り、本物に触れる場を提供することが出来た。アンケートではワークショップイベントに対する満足度が「高い」または「やや高い」で90%以上を占めており菓子木型・和三盆の魅力伝える効果的なワークショップになった。

・お土産品開発

和三盆干菓子の商品を制作し、香川のお土産として販売することが当初の予定であった。しかし、和三盆の製造許可、パッケージデザイン、費用などの障害が生じたため断念した。その代替案として、私たちにワークショップをご指導いただいている上原さんが運営する



KAGAWAMaker×直島地域活性化プロジェクト

菓子木型で和三盆干菓子づくり体験

2019年8月9日(金)

12:30~15:30

参加費 600円~(ドリンク代込み)

所要時間 約20分

場所 和カフェぐう (直島町本村地区)

アクセス
バス停「農協前」から徒歩1分



【お問い合わせ先】

KAGAWAMaker (香川大学生プロジェクト)

✉ kagawa_maker@gmail.com

📷 kagawa_maker

📱 @Kagawa_Maker

📧 @kagawa_maker

【協力】

豆花 上原あゆみさん

香川大学直島地域活性化プロジェクト

【協賛】 直島町役場・直島町観光協会

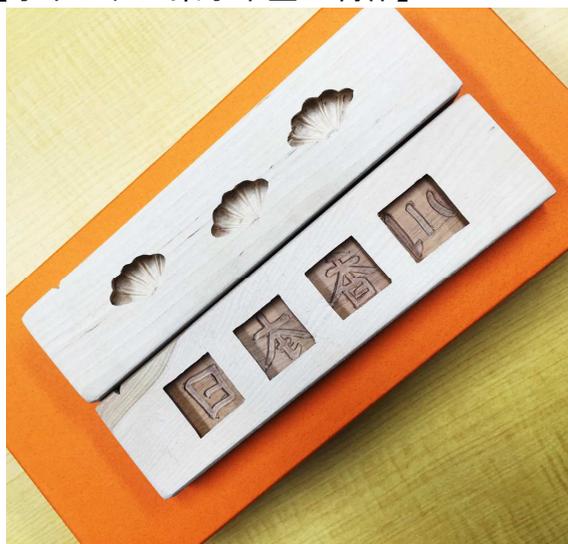
豆花（菓子木型を使ったワークショップができる体験教室）にガチャガチャを設置することとした。カプセルの中には和三盆干菓子一つとおみくじが同封されており、おみくじの作成に協力させていただいた。

2月24日の「菓子木型で和三盆干菓子づくり体験 in Webase 高松」では、ワークショップを開催するとともに、ガチャガチャも持参して、参加者に楽しんでいただいた。

当初の目標を達成するためには計画性が必要であった。早期での課題の把握や話し合いを十分にできていなかったことが反省点である。



【オリジナル菓子木型の制作】



このプロジェクトが開始した6月からオリジナル菓子木型のデザイン案のアイデア出しを始めた。試行錯誤ののち10月に完成させることが出来た。完成した菓子木型のデザインは「菊の花」「日本・香川」の二つである。対象を外国人観光客に設定していたため日本らしさをアピールすることを意識した。制作した菓子木型はワークショップの際に参加者に使用していただいた。

4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

このプロジェクト事業を実施したことにより、菓子木型や和三盆に関心を持ってもらうことが出来た。今まで菓子木型・和三盆を知らなかった人びとはもちろん、知っていたけどよくわからない、触れたことがない香川のみなさんに魅力を伝える場を作った。香川県の誇るべき伝統を再認識するきっかけになったと考える。

ワークショップにより、香川大学生が積極的に地域社会で活動していることを地域のみなさんに知っていただくことも出来た。特にワークショップのアンケートでは「学生とお話できて楽しかった」や「大学生の対応が良かった」との声をいただいている。私たちへの評価は大学への好印象にもつながるのではないだろうか。このワークショップについては、NHK 高松放送局にも取材していただいた。

また、地域活性化を目標にする他のプロジェクトとのコラボレーションが実現し、学内で高めあう関係を築けている。

5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

このプロジェクト活動をしなければ出会えない人びととの出会いは学生生活に大きく影響している。実施メンバーは経済学部、法学部、農学部などの多様な学部から構成されている。普段の講義だけでは接点の少ないメンバーと活動し、今まで自分になかった考え方や価値観に気が付くことができた。

さらに、学外で協力してくださっている社会人の方からも刺激を受けている。将来を考える際の参考になる話を聞ける機会が多い。

プロジェクトの遂行にあたって責任感や計画性を身につけることもできた。目標に向かってプロジェクトメンバーで話し合いを重ね、試行錯誤したことは今後も生かすことが出来る有意義な経験だった。

6. 反省点・今後の展望（計画）・感想等

【反省点】

・菓子木型・和三盆の魅力を十分に伝えられているのか

→私たちがより知識を増やし伝えられるようになる必要がある。さらにワークショップの内容も工夫し、満足度を高める。

・ワークショップの参加者

→開催場所を慎重に検討する。広報活動に力を入れる。年齢などのターゲット層を明確に決めておく。

・お土産開発の断念

→早い段階で計画を練るべきであった。

【今後の展望】

対象を外国人観光客に設定していたが異なるターゲットにもアプローチしたい。私たちだからこそできるプロジェクトとして、同世代に菓子木型・和三盆の魅力を知ってもらおう。

【感想】

プロジェクトを通じて、メンバーの香川の伝統や歴史に対する理解を深めることができた。その結果、香川大学生として少しでも地域に貢献できていればと思う。このプロジェクトを通じて、経験が自信につながり、成長できたと感じる一方で、自分たちの力不足を痛感することも多々あった。これらの経験と反省を活かして、これからも継続して香川を盛り



上げていきたい。

7. 実施メンバー

代表者 澤田 みのり（経済学部 2年）

構成員

瀬尾友加里（経済学部 2年）

青木萌々果（経済学部 3年）

竹下颯人（経済学部 3年）

岡本えみり（農学部 3年）

吉本菜々子（経済学部 1年）

宮幸佑輔（創造工学部 1年）

重松音緒（経済学部 1年）

海田梨沙（経済学部 1年）

園田真夕（法学部 1年）

河瀬美里（農学部 1年）

村田絵美（農学部 1年）

豊田七海（経済学部 1年）

越智なぎ沙（法学部 2年）

加藤真由（法学部 2年）

池田果蓮（法学部 2年）

松原菜々子（法学部 2年）

8. 執行経費内訳書

| 配分予算額 | | 199,560円 | | |
|-----------------|----|----------|---------|----|
| 執行経費（品目等） | 数量 | 単価(円) | 金額(円) | 備考 |
| 交通費（高松港—和カフェぐう） | 13 | 1,190 | 15,470 | |
| オリジナル菓子木型 | 2 | 32,400 | 64,800 | |
| 菓子木型 | 2 | 16,000 | 32,000 | |
| ステンレスボール | 2 | 1,645 | 3,290 | |
| 講師代 | 12 | 7,000 | 84,000 | |
| 合計 | | | 199,560 | |